



令和6年度市政運営方針

「夢のある、元気のある土浦」の実現に向けて

土浦市長 安藤 真理子

私は、市長就任以来、将来のまちづくりの指針となる、第9次土浦市総合計画をいち早く策定し、公約でも掲げておりました、家計負担を考慮した家庭用ごみ袋の値下げや、公共交通不便地域におけるコミュニティバスの実証運行をはじめ、保育サービスの基準や保育環境のセーフティネットとしての役割を担う、公立保育所の存続を速やかに決定するなど、市民の皆さまに寄り添った、数々の施策を着実に実行してまいりました。

一方で、就任とともに、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るい始め、まさに、感染症から市民の皆さまの健康、生活、そして命を守り抜くため、闘ってきた日々でもあります。

これらの取り組みの成果といたしましては、全国の自

治体において、急激な人口減少に歯止めをかけることが、喫緊の課題となっているなかで、現在、本市の人口は20年ぶりに増加へと転じるなど、今まさに絶好のチャンスが訪れています。

私は、このチャンスを、希望に満ちた新しい時代に向けて、土浦ならではのまちづくりへ、確実に繋げていかなければならないと強く思っています。

そして、市民の誰もが誇りに思い、土浦を離れた方が、いつかは生まれ育った故郷に帰りたいたいと思ってもらえるような、希望に満ちたわくわくするまちを創造するために、未来を見据えた施策を迅速に実行に移し、着実にその成果を積み重ねることで、「夢のある、元気のある土浦」のさらなる躍進に向けて、全力を尽くしてまいります。

令和6年度の主な取り組み

問合せ／政策企画課（☎内線2425）

リーディングプロジェクト 1 子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり

「かがやけ！土浦の子どもたち」を合い言葉に、未来を担う子どもたちが地域とのつながりのなかで、心身共に健やかに、生き生きと育ち、土浦を故郷として誇りに思うことができるまちを目指します。

1 本市全体の保育の質の向上

事業／予算額	認定こども園土浦幼稚園運営事業(特色ある保育委託料のみ)(新規)／160千円 公立保育所グロブスター事業(新規)／640千円
事業概要	認定こども園土浦幼稚園および全公立保育所においては、グローバル化が進むなかで、将来、世界を舞台に活躍する子どもたちが小さいころから国際感覚を身に付けられるよう英語教室を始めます。加えて、遊びながら楽しく学べる自転車教室、体操教室といった、特色ある保育を新たに実施することで、多様な体験、遊びができる機会を確保し、保育の質の向上を目指します。



楽しく自転車の乗り方を学ぶ子どもたち

2 時代の変化に応じた子育て支援の充実・子育てにかかる経済的支援制度の不断の見直し

事業／予算額	市立小・中・義務教育学校の給食費の無償化(継続)／444,867千円 1か月児健康診査支援事業(新規)／4,796千円 子育て世帯訪問支援事業(新規)／705千円
事業概要	昨年10月から実施している、すべての市立小・中・義務教育学校へ通う、児童生徒の学校給食費の無償化を、継続して実施することにより、急激な物価高騰にともなう経済的負担の軽減や、子育て世帯の支援拡充を図ります。また、乳児の健康診査に、新たに「1か月児健康診査」を加え、その費用の一部助成を開始し、医療機関とも連携を図ることにより、子どもの健やかな発育、発達を支援します。 さらに、家事・育児などに不安や負担を抱え、支援が必要な子育て世帯や、ヤングケアラーなどに対して、家事援助サービスを提供することで、家庭や養育環境を整える「子育て世帯訪問支援事業」を開始します。



楽しく給食を食べている子どもたち



乳児の健康診査

3 時代の変化に応じた個別最適な学びと協働的な学びの提供	
事業／予算額	小学校・中学校GIGAスクール構想推進事業(継続)／94,655千円
事業概要	GIGAスクール構想に基づき整備した、1人1台端末環境を、校内学習や家庭学習において、有効に活用することで、児童生徒の能力の育成をより一層推進します。
4 学校施設の環境改善	
事業／予算額	小学校・中学校長寿命化改良事業(継続)／71,592千円
事業概要	小・中学校の校舎および屋内運動場の、長寿命化工事を継続して実施し、学校施設の計画的な環境改善を図ります。
5 小学校の適正配置	
事業／予算額	上大津地区統合小学校整備事業(継続)／109,407千円
事業概要	児童の教育環境の充実を図るため、令和6年3月より校舎および屋内運動場などの基本設計に着手し、令和10年度の統合小学校開校を目指します。



1人1台端末と電子黒板を使用した授業



令和5年度の都和南小学校長寿命化改良工事

リーディングプロジェクト 2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり

本市の持つ自然環境や歴史文化、日本一の生産量を誇るれんこんや花火競技大会、充実したサイクリング環境などの「地域の宝」を磨き上げるとともに、時代の変化に応じて、新たな地域の魅力を生み出し、戦略的に発信することで、人口還流を強化し、持続的に発展できるまちを目指します。

1 サイクリングを活用した地域活性化	
事業／予算額	水郷筑波サイクリング環境整備事業(継続)／39,886千円
事業概要	県と共に観光連携の取り組みを推進している、台湾をはじめとした、インバウンドのサイクリストの利便性を向上させるため、多言語対応のポータルサイトの構築や、案内標識を設置するなど、世界にも目を向けながら、交流人口や関係人口の拡大を図ります。
2 「イベント」資源の効果的活用	
事業／予算額	土浦全国花火競技大会開催事業(継続)／85,000千円
事業概要	これまで培ってきた歴史と伝統を踏まえつつ、花火新時代として新たな幕開けとなる、令和7年の100周年に向けて、より一層、磨きをかけるとともに、安心安全な大会運営に全力で取り組み、これぞ土浦の花火として、全世界へ発信します。
3 歴史・文化の継承	
事業／予算額	歴史的風致維持向上計画推進事業(継続)／367千円 文化財整備・活用事業(継続)／7,296千円 中心市街地まちなか再生事業(継続)／16,879千円
事業概要	国の認定を受けた「歴史的風致維持向上計画」および「文化財保存活用地域計画」に基づき、歴史的建造物の保存・活用について、包括的な支援策を検討するとともに、「一色家住宅」改修のための調査を進めるなど、歴史、文化を生かしたまちづくりを推進します。 中央一丁目地区においては、商業施設などの民間施設や子育て支援施設などの公共施設の導入に向けた検討を進め、中心市街地全体の活性化につなげます。



仮想空間で誰でも土浦を疑似体験できる場の創出



第92回土浦全国花火競技大会 ワイドスターメイン



国登録有形文化財建造物 一色家住宅

リーディング
プロジェクト

3 暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり



多様化・高度化する市民ニーズを的確に把握し、市民の暮らし満足度を高める取り組みを推進するとともに、産業のさらなる発展を促すことで、本市に住む誰もが暮らしやすく、また、働きやすいまちを目指します。

1 都市拠点への都市機能の誘導

事業／予算額	都市施設管理事業(継続)／85,168千円
事業概要	本市の南の拠点である荒川沖駅について、周辺の都市化などによる交通状況の変化に対応し、利用者のさらなる利便性向上を図るため、駅西口および東口の駅前広場の機能再編に向けた取り組みに着手します。



中村南・西根南地区、右根地区を走行している「つちまるバス」

2 公共交通不便地域の解消

事業／予算額	地域公共交通確保維持改善事業(継続)／83,687千円
事業概要	コミュニティ交通については、乙戸南地区に加え、新たに並木・板谷地区への導入の準備を進めるとともに、神立・稲吉地区におけるMaaSの実証実験により、順次、公共交通不便地域の解消を図ります。

3 土浦港周辺地区の土地利用の推進

事業／予算額	土浦港周辺広域交流拠点民間事業者誘導事業(継続)／2,320千円
事業概要	「りんりんポート土浦」の隣接地において、官民連携により、多くの方々を訪れる、魅力ある土地利用を推進するために、引き続き、にぎわい創出に向けた検討を進めます。



MaaS実証実験で走行した電気自動車「グリーンスローモビリティ」

4 主要幹線道路などの整備

事業／予算額	荒川沖木田余線(Ⅱ期)整備事業(継続)／421,898千円 田村沖宿線延伸道路整備事業(継続)／46,550千円 木田余神立線街路事業(Ⅱ期)(継続)／480,812千円
事業概要	交通渋滞の解消および道路ネットワークのさらなる強化を図るため、昨年末に一部供用開始しました、荒川沖木田余線について、県道土浦港線から、真鍋神林線までの区間においても、4車線化工事を推進します。 あわせて、木田余神立線および田村沖宿線延伸道路につきましても、引き続き、事業を着実に進めることで、道路網の強化を推し進めます。



令和5年12月に一部4車線化の供用を開始した荒川沖木田余線

5 つくばエクスプレスの土浦への延伸の実現に向けた取り組みの推進・スマートインターチェンジの整備の推進

事業／予算額	TX延伸事業(継続)／200千円 開発候補地調査検討事業(新規)／8,500千円 スマートインターチェンジ整備事業(継続)／30,723千円
事業概要	つくばエクスプレスの土浦延伸構想の、一日でも早い実現に向けて、県と連携を図りながら、皆さまと力を合わせ、オール土浦で取り組みます。 また、将来的な交通ネットワークの形成を見据え、新たな開発候補地の選定に向けた調査を行います。 スマートインターチェンジの整備については、準備段階調査箇所への採択を受けたことから、設置に向けた調査を進めるとともに、これまで以上に国、県、NEXCOなど、関係機関との連携を図り、早期の事業化を目指して取り組みます。



TX延伸早期実現を目指して

6 インターチェンジ周辺地区の土地利用の促進	
事業／予算額	インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業(継続)／63,943千円
事業概要	桜土浦インターチェンジ周辺地区において、地権者の合意形成など、事業化に向けた取り組みを推進するとともに、土浦北インターチェンジ周辺地区においても、土地利用の誘導を図り、企業誘致に結びつけます。
7 農業振興の推進	
事業／予算額	日本一のれんこん産地推進事業(継続)／8,247千円 土浦ブランドアッププロジェクト推進事業(継続)／1,420千円
事業概要	日本一の生産量を誇るれんこんを始め、グラジオラスやアルストロメリアなどの花き類、米、果樹、野菜など、本市で生産される農産物について、ブランドセールスの全国展開に、総力を挙げて取り組み、「稼げる農業」の実現を目指します。特に、れんこんについては、「れんこんのサラダ化プロジェクト」に加え、長距離トラックへのラッピングや、サービスエリアでのPR活動を行うことで、全国に向けて情報発信するとともに、新たに生産者やJA、飲食店事業者などで構成する協議会を設立し、さまざまな取り組みを推進することで、日本一のれんこん産地としての知名度向上と消費拡大を図ります。



長距離トラックのラッピング



れんこんを毎日の食卓へ「れんこんのサラダ化プロジェクト」

リーディングプロジェクト **4 安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり** 

自然災害の激甚化や、感染症の流行期などに自然災害が発生した場合の複合災害に備え、ハード・ソフトの両面から災害被害を最小化し、市民の生命、財産、そして生活を守る取り組みを推進することで、市民が安心して暮らせる災害に強いまちを目指します。

1 地域防災力の強化

事業／予算額	防災拠点・防災設備整備事業(継続)／15,829千円 地域防災力強化事業(継続)／3,341千円 防災意識普及啓発事業(継続)／3,364千円
事業概要	大規模災害に備え、指定避難所などに設置している防災倉庫を計画的に更新し、備蓄品を充実させるとともに、県内でいち早く結成した、地域防災サポーター連絡協議会の活動を加速し、新たに各地区の自主防災組織とも連携を図ることで、市民の防災意識の高揚と地域防災力のさらなる強化につなげます。水防法の改正により、霞ヶ浦、桜川に加え、新たに乙戸川や花室川などの、中小河川の浸水想定区域が指定されたことから、地域防災計画における水害時の避難場所を見直したうえで、災害時に、迅速かつ確かな避難ができるよう、市民の皆さまへ周知や啓発を徹底します。



日頃の備えが大切です
防災グッズ

2 土砂災害による急傾斜地崩壊防止対策

事業／予算額	急傾斜地崩壊対策事業(継続)／1,725千円
事業概要	現在施工中の東真鍋地区については、着実に完了させ、木田余地区については、危険区域の解消に向けて施工準備を進めるよう、引き続き、県に対して働きかけを行います。



急傾斜地崩壊対策工事

3 橋梁の安全対策

事業／予算額	橋梁定期点検事業(継続)／20,977千円 橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業(継続)／600,025千円
事業概要	定期点検を実施し、危険箇所を早期に発見するとともに、真鍋1号橋および東真鍋1号橋などについて、計画的に耐震補強および長寿命化修繕工事などを進めていきます。



小松ヶ丘町と富士崎二丁目
架かる工事完了後の二番橋